

撮影：尾形文解



すごい現場、すごい場所

| 23 |

## 都心地下に潜む巨大な樽

帝国ホテル

### 【楢田木槽の受水槽】

ホテルの地下に強大な樽——。ワインやウイスキー用ではない。東京・内幸町にある帝国ホテル東京のインペリアルタワー地下4階。客室やレストラン、事務所を含むすべての生活用水を供給する受水槽だ。

木槽では国内有数の大きさで、楢田型では日本最大の225ト。楢田型で2槽置き、空間を無駄なく使っている。長径は12mで高さ4・5m。ニューヨークのビル屋上に多い水槽を手本に日本木槽木管が製造したタワー開業の1981年に設置した（写真は2009年設置の2代目）。

構造は西洋木槽と同じで、底板と側板各部を組み合わせ、外側から鋼製バンドで締め付けただけ。楢田が変形しないよう内側からもバンドで引っ張っているが、接着剤は不使用。気密・水密性は抜群。酸性、アルカリ性にも強いうえ保温性がよく、結露がない。木材は再利用が可能だ。

ホテルの水使用量は多く、タワーだけで夏は1日300ト、冬は350ト。最高級のサービスを、地下で黙々と支える。（本誌・山川哲也）

兵庫県立西宮香風高等学校(平成11年/Φ3x2.5/28m<sup>3</sup>)



日本木槽木管株式会社

京都市上京区総合庁舎 H26年12月現在 京都府産杉使用  
Φ2100×2000H 4.5t=2基



日本木槽木管株式会社

JR新津駅雨水槽  
Φ1800×2500H(有効5.0t)国産杉使用



日本木槽木管株式会社